

学区社会福祉協議会の取組み紹介

安学区 子ども達が安心して “よりみち”できる居場所づくり

安学区社協の取組みである「よりみち会」の活動について、寺尾一秀会長、大倉守副会長、井村紀美子事務担当に、お聞きしました。

Q. 安学区社協で放課後子ども達とふれあい活動をしている「よりみち会」について教えてください。

A. 寺尾会長：地域のお年寄りや子ども達が安心して暮らす事ができるように平成15年に安ふれあいセンターを開設しました。地域から「児童館が無い」「子ども達の居場所が無い」という声があり、下校した子ども達が安ふれあいセンターで、地域の人達と一緒に読書したり、宿題を見てもらったり、一緒に遊べる居場所として「よりみち会」を結成しました。本棚は地域の方が作ってくださり、本はたく

さんの方に寄贈していただきました。平成19年からは放課後プレイスクール「よりみち会」として広島市立安小学校の空き教室を利用させていただき活動しています。

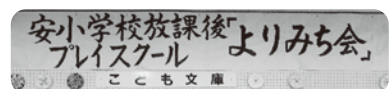


左から、井村事務担当、寺尾会長、大倉副会長

Q. 「よりみち会」の活動で子ども達と関わって感じたことは？

A. 大倉副会長：私は親しみを込めて子ども達を苗字ではなく「名前」で呼んでいます。スーパーで買い物していると「あっ！よりみち会のおじちゃんじゃ！」と子ども達が声をかけてくれるのが嬉しいです。

A. 井村事務担当：私は子ども達の「よりみち会」での姿が保護者の皆さんに伝わる様に工夫しながら



らお便りを作っています。「よりみち会」は子どもと地域のつながりの場だけでなく、他学年の交流という子ども同士のつながりと地域の方向士のつながりの場にもなっている貴重な場であると感じています。

Q. 来年度に児童館が新設されることで15年間続いた「よりみち会」の活動が終了するとお聞きしました。



よりみち会の一場面

A. 寺尾会長：今まで子ども達と地域を繋いでいた会が無くなることは寂しいですが、児童館ができることは保護者や子ども達にとってたいへん嬉しいことです。「よりみち会」でこれまで培ってきた「良いところ」を何かの形にして残せるようにしたいです。

山本学区 皆の力で作る、 安全・安心に住めるまち

「山本集会所」を拠点に、福祉のまちづくりに取り組まれている山本学区社協の大石 正明会長、西久保 克臣副会長、小堀 昭男地域福祉推進委員に、お聞きしました。

Q. 山本学区社協の会長に就かれて感じられていることは？

A. 生まれてからずっと山本に住んでいます。学区社協の会長には6年前に就任しました。

従来から社協が実施している「いきいきサロン」、「ボランティアバンク」、「近隣ミニネット」といった高齢者支援活動の一環に加え、今年度は高齢者地域支え合い事業「安心ネット山本」をスタートさせたことで、ともに助け合える地域づくりに加速がつけばと考えています。

また、4歳の時に終戦を迎えた自身の体験を、山本小学校の総合的

な学習の時間で6年生に「戦争体験に学ぶ会」として語り継ぐことで、「戦争は絶対にしてはいけない」ということを子どもたちに伝えていきたいと思っています。



右から、大石会長、西久保副会長、小堀地域福祉推進委員

Q. 山本学区社協の取り組みの特徴について教えてください。

A. 一つ目は、ハード面での「まちづくり」です。今までに広島市、教育委員会、警察署等に陳情を行い、山本小学校体育館横の「トイレの洋式化」や、まごころ保育園前の交差点への「信号機設置」等を実現してきました。当然のことながら、一朝一夕に実現するものではなく、連合自治会や子ども会連合会等の関係16団体で構成される「ふるさとやまもとまちづくり懇談会」で、山本学区の問題点を提起し、学区社協の「ふるさとまちづくり委員会」とし

て「区政懇談会」で陳情を行うという工程が必要となります。そのためには、「横のつながりが大切」と西久保副会長は語られました。

二つ目は、地域交流を意識した「まちづくり」です。山本学区を7ブロックに分け、ブロック対抗の運動会やスポーツ大会、敬老フェスティバル、三世代グランドゴルフ、盆踊り、とんど等の地域交流を目的とした様々な行事を開催しています。

小堀地域福祉推進委員は、「やはり、地域は皆で作って上げていくものであり、『出会い・ふれあい・支え合い』が大切なので日頃から交流できる関係を作っておく機会を意識した取り組みが必要だと思います」と話されました。



敬老フェスティバルで演奏する東ベンチャーズのみなさん
(右から2番目、小堀地域福祉推進員)



介護予防・日常生活支援総合事業について(その2)

介護保険制度の中で行う健康づくり・介護予防として、65歳以上の全ての方が参加できる『地域高齢者交流サロン』『介護予防拠点』などの「通いの場」を充実させる一般介護予防事業という取り組みがあります。

『地域高齢者交流サロン』は、地域団体等が運営する介護予防を目的に多様な活動(レクリエーション、歌、運動、情報交換等)を行う「ふれあい・いきいきサロン」などをいいます。(月1回以上開催)

『介護予防拠点』は、地域団体等が運営するいきいき百歳体操などの運動を中心とした介護予防の拠点のことをいいます。(週1回以上開催) 参加する地域の方々が集い、活動し、お互いが顔見知りになっていくことで温かい人間関係の構築につなげることが期待されます。

(安佐南区生活支援コーディネーター 江角)



安佐南区 ボランティアセンター通信

ボランティア入門講座のご案内

●視覚障がい支援ガイドボランティア入門講座

視覚障がい支援ガイドボランティアは、目の不自由な人が買い物、病院、スポーツなど外出するときの道案内、乗り物案内、状況説明などの外出支援をしています。
相手が何をしたいか、どこへ行きたいか、目的地へ着いたり、やりたいことが達成できたときはガイドボランティアのやりがいがあります。

入門講座を体験してガイドボランティアを始めてみませんか？

日 時 平成31年1月9日・16日・23日の毎週水曜日 10:00～12:00(全3回) ※2回目は12:30まで
参加費 500円(2日目のお弁当代として)
定 員 先着20名
締め切り 平成31年1月7日(月)
場 所 安佐南区総合福祉センター6階

●要約筆記ボランティア入門講座

「聴覚」に、障がいのある方にとって、大切な情報伝達の手段の一つに『要約筆記』があります。

『要約筆記』とは、話し手の話の内容を要約し、文字で書いて伝えるコミュニケーション支援です。『要約筆記』の方法を学び、ボランティア活動を始めてみませんか？

日 時 平成31年1月24日・31日・2月7日の毎週木曜日 10:00～12:00(全3回)
参加費 無料
定 員 先着15名
締め切り 平成31年1月17日(木)
場 所 安佐南区総合福祉センター5階

ボランティア連絡会の被災者支援活動紹介

“安佐南区ボランティア連絡会”は安佐南区ボランティアセンター登録グループで自主的に組織しています。その中の一グループに、災害ボランティア活動支援チーム「5Kチーム」があります。8.20広島土砂災害の経験から、安佐北区災害ボランティアセンターの運営支援に入られました。また、ボランティア連絡会の女性メンバーの方々は、「土砂かき」は難しいけど、自分たちにできることがある!と自分たちの趣味や特技を活かし、安佐北区の被災された方々に向けた温かいメッセージ付きのうちわや、おそうじグッズを作成され安佐北区の災害ボランティアセンターに届けられました。



おそうじグッズ等を作成中

ボランティア連絡会の加入グループを紹介します。

ガイドサークルむつみ会

こんにちは、区社協のボランティア担当です。

今回はガイドサークルむつみ会に活動の様子取材してきました。



長束ふれあい広場でのアイマスク体験の様子

(区社協) ガイドサークルむつみ会はどのようなボランティアグループですか？

(ガイドむつみ会) ガイドサークルむつみ会は平成5年から活動していて、目の不自由な人の外出支援をしています。会員の年齢層は40代から80代と幅広い世代が活躍しています。

(区社協) 普段どのような活動をされておられますか？

(ガイドむつみ会) やさしさ発見プログラム事業で安佐南区内の学校や地域に訪問してアイマスク体験の実施をしています。視覚障がい者をまじえてブラインドピンポン、室内ペタンクなどを紹介しております。会員のほとんどが広島市障害者(児)社会参加支援ガイドヘルパーに登録しており個人的にもガイド活動をしています。

(区社協) 本当にたくさんの方々が地域で活躍されることで、多くの方の社会参加による楽しみにつながっておられますね。以上、取材の様子でした。

赤い羽根共同募金のお礼

赤い羽根共同募金 70th

「赤い羽根共同募金」へのご協力をありがとうございます。

皆さまからお寄せいただいた募金、「赤い羽根共同募金」は区社会福祉協議会の「新福祉のまちづくり総合推進事業」や高齢者支援、障害者支援、子育て支援等々の福祉活動に使わせていただいております。

平成30年度 募金実績額 10,285,726円 平成30年10月31日現在

紙面をお借りして、募金をくださった地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げますとともに、今後とも「じぶんの町をよくするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

災害義援金における協力のお礼と受入れ状況のご報告

平成30年度も多く発生しました災害につきまして、安佐南区内のみなさまより心温まる義援金にご協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

各募集期間内、義援金受入状況をご報告させていただきます。

(平成30年11月末現在)

名 称	募集期間	募集状況	義援金額(安佐南区円)
1 熊本地震義援金災害義援金	H28.4.18～H31.3.31	受付中	5,138,631
2 平成30年度大阪府北部地震義援金	H30.6.22～H30.9.28	受付終了	153,279
3 平成30年度広島県豪雨災害義援金	H30.7.12～H31.6.28	受付中	5,365,655

寄付は地域を支える第一歩

寄付についてのご案内

皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。

☆このようなときに、寄付というのはどうでしょうか？

- 長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として
- フリーマーケット・チャリティーバザーなどの収益金を
- グループの忘年会、会合などの会費の一部を
- 香典返しに代えて
- お店などの募金箱から

いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

☆主な寄付金の使途

- 地域福祉事業 ●障害児者福祉事業
- ひとり親福祉事業 ●ボランティア事業

☆寄付金のお申し込み・お問い合わせ先

広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL(082)831-5011 FAX(082)831-5013

まごころに感謝します

お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。

(平成30年八月一日～平成30年十一月三十日まで
—受付順—)

○一般寄附

広島美しい町協同事業協会様
他 一団体様

○賛助会員

(有)サカコーポレーション様

お気軽にご相談ください

無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。下記までお問い合わせください

弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00～15:00(要予約)

金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

まちの保健室

在宅看護職の会が健康相談を行います。

佐東老人いこいの家
第1・3月曜日
10:30～12:00

祇園福祉センター
第2・4水曜日
13:00～15:00

子育て・サークル相談

不定期 月1回
10:00～14:00

先輩ママ“MaMaぼっけ”による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ!

安佐南区くらしサポートセンター

様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方の相談窓口です。

『長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない』、『家計のやりくりが難しい』、『借金を抱えて生活が苦しい』などの相談をお受けしています。

所在地 広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階

電話 082-831-1209

電話や来所だけでなく、相談員による訪問相談も可能です。

掲載記事へのご意見・感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局 〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013 E-mail: asami@shakyohiroshima-city.or.jp